

授業科目名： 教育心理学	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 武藤 幸穂 担当形態： 単独
科目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程		
授業の到達目標：①発達理論を基に教育における発達理解の意義を理解している。②乳児期から青年期までの発達の諸相を具体的に理解している。③学習の代表的理論を理解している。④学習の動機づけ・集団づくり・評価のありかたについて、発達の特徴と関連づけて理解している。幼児、児童の心身の発達を踏まえ、教育心理学の意義を理解している。			
授業の概要：幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を発達心理学Ⅰの学びと関連付けて講義する。発達理解を基に、学習に関する基礎的知識と学習を支える指導についての基礎的な考え方を講義する。心理検査や事例を入れながら学びが身近になるよう進めていく。			
<p>授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション／教育心理学とは何か；教育心理学がめざすもの・領域・研究方法</p> <p>第2回：発達と教育1；発達とはどういうことか、発達を規定する要因、個人差と指導</p> <p>第3回：発達と教育2；発達段階、発達の姿と指導（乳児期～青年期の発達の特徴）</p> <p>第4回：学習行動の基礎；行動主義・認知主義からみた学習、知識の獲得、分散・集中学習</p> <p>第5回：学びの動機づけ；動機付けの基礎、内発的・外発的動機づけ、動機づけと学習意欲</p> <p>第6回：知的能力の発達；知能とは何か、知能の発達と測定、知能とその他の能力との関係</p> <p>第7回：人格形成と適応；人格形成、人格の評価、適応・不適応の諸相</p> <p>第8回：学級集団の心理1；学級集団の特徴・意義・機能・構造</p> <p>第9回：学級集団の心理2；保育における集団、個人の役割と指導、自己抑制と適応、相互関係</p> <p>第10回：教育・保育における評価；教育評価とは何か、どのように評価するか、保育における評価</p> <p>第11回：発達障がいのある子どもの教育・保育、発達障がいの特徴とその対応</p> <p>第12回：就学に向けて（幼・保・小連携）；就学前の気がかりな子への支援と連携</p> <p>第13回：家族ぐるみの教育的支援；保育者のカウンセリングマインドと保護者への教育的相談</p> <p>第14回：子どもをめぐる教育的問題；不登校・不登園、虐待等</p> <p>第15回：まとめ；あそびと子どもの発達</p> <p>定期試験</p>			
テキスト：なし。適宜資料を配付する			
参考書・参考資料等：保育に生かす教育心理学（伊藤健次 みらい）、教育心理学（東京都私立短期大学 酒井書店）、幼稚園教育要領、幼保連携認定こども園教育・保育要領			
学生に対する評価：テスト70%、提出物20%、授業への参加度合い10%			

（教育心理学平成30年度後期1・2年）